学校番号	3017

令和８年度　理科

教科	理科	科目	物理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	物理　（東京書籍）						
副教材等	ニューグローバル　物理基礎＋物理　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「物理基礎」で学習した「ニュートン力学」をふまえて，物体の衝突や円運動万有引力の法則などを学びます。身近な自然現象について、数式を用いて表現し考察する方法を，演習を通して学びます。学習にあたっては、基礎的な数学力や、学習した物理量の定義などを人にしっかりと説明できるような深い理解を積み重ねていくことが必要です。「物理基礎」の内容をしっかり復習し，臨んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
物理基礎で学習した内容をさらに深め、物理の原理や法則が科学技術として日常生活や社会の中でどのように利用され，結び付いているか理解をさらに深める。
【思考力、判断力、表現力等】
物理に関する身近な具体例について，実験などを通して学ぶことにより，物理学的なものの見方や考え方を、日常生活で考え生かす力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
物理の成果や果たしてきた役割、物理の有用性を認識し、将来にわたって物理学や科学技術に対する興味・関心をもち続けることができるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを通して基本的な知識を習得・深化するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物体の運動に関する事物･現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	1編　さまざまな運動	平面内の運動 剛体のつり合い 運動量	a: 平面内の運動に関する物理法則を理解している。 b: 力のつり合いについて,観察・実験を通して剛体にはたらく力と力のつり合いとの関係を的確に表現できる。 c: 日常に見られる円運動や天体の運動を通して，力の性質や運動との関わりについて考察しようとしている。	単元テスト 小テスト	単元テスト 小テスト 観察・ 実験	学習状況 プリント ワーク 探究活動
		円運動 万有引力				
2	2編　波	波の伝わり方 音	a:波の波長・振動数・速度・屈折・反射や波の種類，について理解している ｂ:弦楽器の観察し，定常波・共振・共鳴等に関する実験技能を習得し分析できる。 ｃ:身の回りの波動現象に関心を持ち，意欲的・科学的に探究しようとしている。	単元テスト 小テスト	単元テスト 小テスト 観察・ 実験	学習状況 プリント ワーク 探究活動
	3編　電気と磁気	電場と磁場 電流	a: 電場と電位の関係について理解している， ｂ:電場に関する観察・実験の技能を習得している ｃ: 電気と磁気に関心を持っている。			
3	4編　原子	電子と光 原子と原子核	a:原子の構成について理解している。 b: 粒子性・波動性の概念を形成している c: 電子の発見の歴史や,電子や光の粒子性と波動性について興味・関心を持ち自ら調べようとしている。	単元テスト 小テスト	単元テスト 小テスト 観察・ 実験	学習状況 プリント ワーク 探究活動

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度